

## 第5章 魅力・元気・文化を誇れるまち 第5節 国際化・多文化共生

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった交流事業があったものの、姉妹都市との訪問団の派遣や受入について市と連携し、常州市へ支援物資の寄贈を行い、渡航を伴う交流に制限がある中でも、国際交流を促進することができた。	R1年度に改善した点	10.人や国の不平等をなくそう	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	1,400千円	1,084千円	姉妹都市との交流	友好委員会事業に参加した市民の数	姉妹都市との市民レベルでの交流を通じ、国際的な視野をもった市民を増やすために、より多くの市民に参加を促す必要があるため。				16.平和と公平をすべての人に		
	根拠法令	所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)	友好委員会事業に参加した市民の数	友好委員会事業に参加した市民の数	目標設定の考え方・根拠				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	事業の目的及び具体的な内容	1,400千円	524千円	市民の意識を高める事業	市民の意識を高める事業	R1目標値が未達成の理由・分析		より多くの一般市民に交流事業へ参加してもらえよう内容を工夫した企画の実施が求められるとともに、費用対効果も考慮しながら交付金の効率的執行を促していく必要がある。また、今後は感染症対策の観点から、海外都市との交流事業については、新たな実施方法を検討していく必要がある。			どのように貢献したか		
	国際友好委員会交付金	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っている。この流れを促進し、市民の国際意識を高めるために、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。	0.41人	非常勤特別職	0.00人	実績	110人	110人	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣 姉妹都市から来訪する訪問団との交流 姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援 外国籍市民との交流	3,436千円	臨時職員	0.00人	2団	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	期間	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	43人	110人	43人	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	昭和55年度～	事業の目的及び具体的な内容	0.31人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		事業の目的及び具体的な内容	2,577千円	臨時職員	0.00人	3つ	50人	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	姉妹都市との交流事業を軸とし、市民へ安定的に国際交流の場を提供しているが、一方で、参加者に固定化の傾向がみられており、より幅広い年齢層の一般市民が参加するため、事業内容・実施方法の見直しや、参加者の満足度の検証が求められている。	R1年度に改善した点	10.人や国の不平等をなくそう	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	2,486千円	879千円	姉妹都市から行政視察団を受け入れた数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合	相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。				16.平和と公平をすべての人に		
	根拠法令	所沢市自治基本条例、第6次所沢市総合計画前期基本計画	R1予算現額	R1決算額(見込み)	姉妹都市交流事業に参加した市民の数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合	目標設定の考え方・根拠				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	事業の目的及び具体的な内容	2,196千円	274千円	姉妹都市交流事業に参加した市民の数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合	R1目標値が未達成の理由・分析		今後安定的に事業を実施していくために、感染症対策の観点から、渡航を伴わない交流事業の検討が求められている。また、より多くの市民の参加を促すため、周知方法等の見直しを行う必要がある。			どのように貢献したか		
	国際交流推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	国際交流を推進する様々な事業を実施することにより、姉妹都市を中心とした海外都市との関係を構築する。姉妹都市との間で行政視察団の派遣・受入れを相互に行い、先進的な取組等について行政情報の交換を行う。姉妹都市との間で周年に合わせて代表訪問団の派遣・受入れを相互に行うなど、相互の信頼関係の促進に努める。	1.13人	非常勤特別職	0.00人	1団	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	市民交流の促進のほか、観光等の経済交流の促進や災害時の相互協力などに努める。	9,469千円	臨時職員	0.00人	33人	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	期間	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	1団	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	～	事業の目的及び具体的な内容	0.68人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		事業の目的及び具体的な内容	5,652千円	臨時職員	0.00人	75.0%		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	国際化が進む中で、将来を担う高校生が異文化に触れることで国際感覚を身につけることは重要であり、経験したことを積極的に周知するとともに、市が推進する国際交流施策においても、将来にわたって協力を期待したい。	R1年度に改善した点	10.人や国の不平等をなくそう	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	850千円	800千円	所沢市からの派遣員の総数(奇数年)	事業に参加したことにより国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合	社会、文化等の交流を通じた外国人との相互理解や、国際社会についての広い視野からの理解を深めることで、次代を築く人材の育成を行うことが目的であるため。				16.平和と公平をすべての人に		
	根拠法令	所沢市海外都市学生交流実施要綱 所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)	所沢市における受入家庭の総数(偶数年)	事業に参加したことにより国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合	目標設定の考え方・根拠				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	事業の目的及び具体的な内容	1,046千円	944千円	所沢市における受入家庭の総数(偶数年)	事業に参加したことにより国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合	R1目標値が未達成の理由・分析		緊急時の連絡体制については、未成年が外国に滞在するという事業の内容に照らし、引き続き強化する必要がある。また、オリエンテーションの内容をより工夫するなど、派遣員が明確な目的をもって事業に参加し、現地でも向上心をもって過ごせるよう、支援を行う必要がある。			どのように貢献したか		
	海外都市学生交流事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	姉妹都市に派遣員(高校生等)を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していくことを目的としている。	0.39人	非常勤特別職	0.00人	6人	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	姉妹都市である米国ディケイター市との間で、派遣と受け入れを毎年交互に行い、派遣員は一般家庭で2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。	3,268千円	臨時職員	0.00人	0世帯(隔年実施のため)	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	期間	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0世帯(隔年実施のため)	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	平成3年度～	事業の目的及び具体的な内容	0.42人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		事業の目的及び具体的な内容	3,491千円	臨時職員	0.00人	80.0%		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	全庁を対象とする調査を行ったところ、多言語化の必要性を感じているものの支援がないために資料の多言語化を実施できていない所属が多かった。今後、翻訳支援等を行うことにより、多言語化を推し進めていきたい。	R1年度に改善した点	10.人や国の不平等をなくそう	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	0千円	0千円	多言語化した行政資料の数	対応言語が増えた行政資料の数(「やさしい日本語」への対応も含む)	より多くの外国籍市民に母国語で情報を提供することが望ましいため、また、すでに日本語で作成された行政資料を「やさしい日本語」に書き換えることで情報伝達が可能となる場合もあるため。				職員向け情報紙を作成し、「やさしい日本語」の周知を行い、職員の意識啓発を行った。また、翻訳希望のある資料について、ボランティアベースでの翻訳支援を行った。		
	根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画	R1予算現額	R1決算額(見込み)	他機関が作成した多言語資料の活用数	対応言語が増えた行政資料の数(「やさしい日本語」への対応も含む)	目標設定の考え方・根拠				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	事業の目的及び具体的な内容	15千円	0千円	他機関が作成した多言語資料の活用数	対応言語が増えた行政資料の数(「やさしい日本語」への対応も含む)	R1目標値が未達成の理由・分析		翻訳支援のニーズのあることが全庁調査から明らかになったため、今後は円滑な支援ができるよう、体制の整備を行う必要がある。また、行政資料の多言語化に関する指針がないため、ガイドライン等の策定の検討を進めていく。			どのように貢献したか		
	行政資料の多言語化推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	外国籍市民に対し、市政情報を多言語(「やさしい日本語」を含む)で提供し、言葉や生活習慣などの違いから日常生活や災害時に感じる不便をなくすことを目的としている。	0.00人	非常勤特別職	0.00人	25	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	年1回程度、全所属を対象とした多言語化に関する調査を行い、状況を把握し、実態に合った効果的な支援策を講じる。	0千円	臨時職員	0.00人	3	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	外国籍市民からのニーズの高い情報を多言語化するため、関係課と連携し、翻訳支援などを行う。やさしい日本語の普及を行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.31人	非常勤特別職	0.00人	3	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	期間	事業の目的及び具体的な内容	2,577千円	臨時職員	0.00人	10		R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	R1～	事業の目的及び具体的な内容						R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	イタリヤ競泳チーム及び競歩チームのトレーニングキャンプを受入れ、積極的に市民との交流を図った。また、小・中学校におけるパラアスリートの講演会を通じて、児童・生徒が障害への理解を深めるきっかけを提供した。	R1年度に改善した点	16. 平和と公平をすべての人に	17. パートナリーシップで目標を達成しよう		
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	2,905千円	1,738千円	小中学校向けゴールボール体験会 市HPコンテンツ数	意識啓発事業数	大会の機運醸成及びバラスポーツへの理解を深めることを事業の目的としているため、啓発事業数を指標としている。				ホストタウンの取組として、商店街へのフラッグ掲揚や市内飲食店でのグルメラリーなど民間事業者と協働し、地域の活性化を図った。				
	根拠法令	-	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	10回	25回	R1目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか				
	期間	H26年度～R3年度	1.18人	非常勤特別職										R元年度目標	R1実績
	9校	19ページ	9,888千円	臨時職員	R元年度目標	R1実績	15回	34回			目標達成済				
	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	3.37人	非常勤特別職	R2年度目標		3回				3回				
28,011千円	臨時職員	1.00人													
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、実施したプレイベント展示には多くの来場者があり、また、成果指標の目標値も毎年概ね達成していることに加え、市民の多文化共生意識の醸成の取組のひとつとして、また外国籍市民にとっての日本文化や本市についての理解を深める場として定着しているため。	R1年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公平をすべての人に		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	200千円	200千円	参加者数 外国籍市民の交流 初めて参加した人数	参加者数	在住外国籍市民、外国人観光客等、今後日本に滞在する外国人の増加が見込まれるため、市民と外国籍市民との共生意識の啓発が必要であり、来場者・出演者を含めより多くの方に本事業に携わってもらうことを重視しているため。				外国籍市民の参加者を増やすため、外国語学校への広報活動や多言語版のプログラムを作成を新たに行った。また、外国籍市民向けに行政からの支援を紹介するパネル作成し、新たな情報提供の場とすることができた。				
	根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	国際交流フォーラム開催支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	570人	600人	R1目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか				
	期間	平成7年度～	0.51人	非常勤特別職										0.00人	R元年度目標
	4,274千円	臨時職員	0.00人		(中止のため)	550人	-	新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当日イベントが中止となったため。(なお、プレイベント展示は実施し、来場者数は527人であった。)							
	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.51人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標									
4,239千円	臨時職員	0.00人			600人										
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	多文化共生の視点を取り入れた職員向け研修や、市民向け講座を毎年実施することができている。一方で、NGOやボランティアとの連携体制に改善の余地があることや、外国籍市民を対象とした調査の実施には至っていないことなどから、取組の強化が求められている。	R1年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	0千円	0千円	研修及び講座参加者の多文化共生への理解度 多文化共生に取り組んでいる所属数	多文化共生に取り組んでいる所属数	市全体が一丸となって多文化共生に取り組むには、多文化共生を正しく理解し、さまざまな分野で取組みを進めていく必要があるため。				豪雨・暴風災害が増加し、全国的に防災意識が高まっていたため、外国籍市民を対象とした防災講座を初めて実施した。講座では、外国籍市民の意識啓発を行うとともに、防災に関する基礎知識の正しい認識することができ、今後の支援策を考える材料となった。また、新型コロナウイルス感染症について、市のホームページ上でやさしい日本語による情報提供をタイムリーに行った。				
	根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	多文化共生推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	-	-	R1目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか				
	期間	R1～	0.00人	非常勤特別職									0.00人	R元年度目標	R1実績
	0千円	臨時職員	0.00人		未計測	20	21	目標達成済							
	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.47人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標									
3,907千円	臨時職員	0.00人			30										